
News Release

2023年6月

EPD 株式会社

医療法人ともしひ会「ファイヤークリニック」

褐色脂肪細胞による再生医療（痩身）に向けた共同研究開発契約を 医療法人ともしひ会「ファイヤークリニック」と締結

EPD 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：早川智久、以下 EPD）は、医療法人ともしひ会「ファイヤークリニック」（理事長：江越正敏、以下 医療法人ともしひ会）と褐色脂肪細胞再生医療（痩身）に向けた共同研究開発契約を締結いたしました。

【本リリースのポイント】

- ・ EPD は褐色脂肪細胞が有する脂肪の燃焼、熱産生機能に着目し、再生医療への活用を検討開始。
- ・ 医療痩身専門のファイヤークリニックを運営する医療法人ともしひ会と共同研究開発契約を締結し、自家褐色脂肪細胞による再生医療臨床研究の実施を目指す。

【本リリースの詳細】

厚生労働省の国民健康・栄養調査報告によれば、本邦の 20 歳以上の人の肥満者 ($BMI \geq 25 \text{kg/m}^2$) の割合は、男性 33.0%、女性 22.3%とされており¹⁾、特に男性は令和元年までの 10 年間に有意に増加しています。肥満に起因ないし関連する健康障害には、糖尿病や高血圧のほか、冠動脈疾患、脳梗塞などの重大な疾患が含まれます。肥満がもたらす経済的な負担も大きく、OECD の報告書によれば OECD 諸国における医療費の約 8.4%が太りすぎを原因とした疾患の治療に費やされているとされています²⁾。

EPD はヒト皮膚の細胞から褐色脂肪細胞を作る技術を有しています。この技術により、脂肪の燃焼や熱産生機能を有している褐色脂肪細胞を体外で培養した後に移植することで痩身につながることが期待されます。

本技術の実用化に向け、このたび EPD は医療痩身クリニックを経営する医療法人ともしひ会と共同研究開発契約を締結しました。今回の共同研究開発は、再生医療等安全性確保法の下、培養した自家褐色脂肪細胞による第二種再生医療等の臨床研究実施に向けた準備を行います。

EPS グループにとって、再生医療は新たな事業領域への挑戦となります。

【Reference】

1) 厚生労働省 令和元年「国民健康・栄養調査」の結果

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14156.html

2) OECD iLibrary The Heavy Burden of Obesity The Economics of Prevention

https://www.oecd-ilibrary.org/social-issues-migration-health/the-heavy-burden-of-obesity/summary/japanese_69eb163d-ja

【EPD 株式会社について】

EPS 創健科技集団有限公司が手掛けるヘルスケア分野の創薬事業において自社パイプラインの開発を推進するため 2021 年に設立された会社です。褐色脂肪細胞誘導技術を用いて、人々の健康の実現に貢献することを目指しています。

【医療法人ともしひ会について】

医療痩身を専門とするファイサークリニックを運営。リバウンドのない安全なダイエットを目指し、ダイエット薬、施術、コーチングの 3 つの治療方法を用いてパーソナライズされた治療を提供します。

本件に関するお問い合わせ先

| | |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| EPD 株式会社 近藤 真次 E-mail : kondo.shinji385@eps.co.jp | 医療法人ともしひ会「ファイサークリニック」 五島 弘樹 E-mail : goshima@fire-clinic.com |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|